

PRESS RELEASE

報道関係各位

2024年8月22日
株式会社メンバーズ**デジタルスキルを兼ね備えたGX人材を3カ年で1,000人輩出へ**

2035年までにGX人材270万人が必要に。

AIなどデジタル専門スキルとサステナビリティ経営に関するGXリテラシーを有した「脱炭素DX人材」を育成・輩出、2025年3月に第1期200人の輩出を目指す

DX現場支援で顧客と共に社会変革をリードする株式会社メンバーズ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 明彦、東証プライム：2130、以下「メンバーズ」）は、独自プログラムやスキル定義を通じて、3カ年で1,000人のグリーントランスフォーメーション（GX）人材の育成・輩出を目指します。

AI・デジタルサービス開発・データ活用などのデジタルスキルと、サステナビリティ経営に関するGXリテラシーを兼ね備えた「脱炭素DX人材」として1,000人を育成・輩出するとともに、温室効果ガス排出量算定やコンサルティングスキルなどを有した「高スキルGX専門人材」100人の輩出も進めていきます。これにより、企業のビジネス成果創出と脱炭素実現の両立への貢献を加速していきます。

なお脱炭素DX人材については、2024年9月より第1期の育成プログラムをスタートし、2025年3月までに200人の認定を行う予定です。

**デジタルスキルを兼ね備えた
GX人材を3カ年で1,000人輩出へ**

-はかる-
サステナビリティ業務改善
排出量算定、社内浸透支援

-減らす-
サプライチェーン、
デジタルチャネルの脱炭素化

-稼ぐ-
脱炭素マーケティング、
プロダクト開発支援

デジタルスキル×GXリテラシーを兼ね備えた**脱炭素DX人材**として
企業のビジネス成果創出と脱炭素の実現に貢献

背景

脱炭素社会の実現へ向け、GX人材は2035年までに新たに270万人が必要になるとされています（※1）。また2024年5月には政府が主導する枠組み「GXリーグ」においてGXを推進する人材の定義が策定されました（※2）。GX人材へのニーズが高まるとともに、育成が喫緊の課題となっています。

メンバーズでは、取引先企業とともに気候変動課題をビジネスで解決することを目指し、プロフェッショナルなGX人材が企業のプロジェクトに伴走し、「はかる」「減らす」「稼ぐ」の3領域で、デジタルを起点に持続的なビジネス成果の創出と脱炭素を支援する「脱炭素DXソリューション」を提供しています。また、取引先企業へのDX支援業務を中心に脱炭素につながる行動をリスト化し社員が取り組む「脱炭素アクション100」などを推進してきました。

この度、企業のビジネス成果創出と脱炭素実現への支援を加速するため、2024年5月に掲げた中期事業戦略において、デジタルスキルを兼ね備えたGX人材である「脱炭素DX人材」1,000人および「高スキルGX専門人材」100人の育成・輩出を目指し、取り組みを開始します。

育成・輩出へ向けた概要

(1) メンバースにおける脱炭素DX人材

- 目指す人材像・スキル定義
 - AIなどのモダンテクノロジーや、デジタルマーケティング・デジタルサービス開発・データ活用といったデジタル専門スキルと、サステナビリティ経営に関する基本的なGXリテラシーを兼ね備える。
 - GXに関する知識習得と専門資格取得に加え、取引先企業への提案や業務支援といった実務経験を有する。
 - 自身が強みを持つデジタルスキルを発揮しながら、脱炭素の「はかる」「減らす」「稼ぐ」3領域のいずれかにおいて、取引先企業のビジネス成果創出と脱炭素実現に貢献。
- 育成プログラム
 - 独自のGXリテラシー講習、炭素会計アドバイザーなどの資格取得、業務での実行の3つを組み合わせた育成プログラムを実施。3つ全ての修了を必須とすることで、脱炭素に関する業務を主体的に創出し、実行できる力を習得（※3）。

GXリテラシー講習	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動とサーキュラーエコノミーに関する基礎知識、カーボンニュートラル実現に向けた政府方針や産業への影響、企業への要求事項、スコープ1,2,3における取り組みの学習や、実際の企業支援を想定した課題ワークで構成。 ● 気候変動に関する基礎研修など、メンバーズがこれまでのGX人材育成で蓄積してきた独自コンテンツを活用した特別プログラム。
資格取得	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境省認定制度である「炭素会計アドバイザー」講座などの受講・資格取得。
業務での実行	<ul style="list-style-type: none"> ● 取引先企業への提案や脱炭素化につながる業務支援を計画し、実行。

※これまでもGX人材育成のため「炭素会計アドバイザー」や「LCAF：LCA検定試験」などの各種資格の取得や研修・勉強会を進めてきました（※4）。



(炭素会計アドバイザー取得者)



(社内でのGX勉強会の様子)

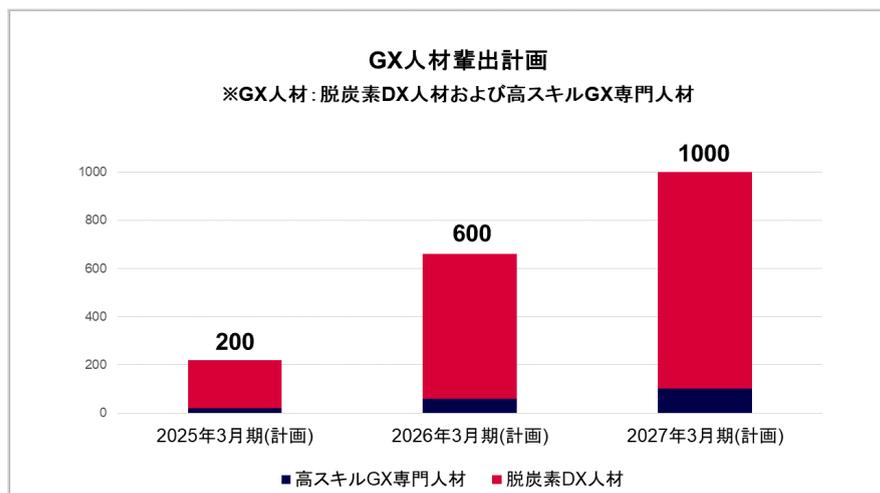
- 認定
 - 業務での実行を含む育成プログラム修了者へ、スキル証明のためメンバーズ独自の制度である「クリエイターバッジ」を付与し認定。クリエイターバッジは、炭素会計アドバイザーの他、「LCAF：LCA検定試験」や「グリーンソフトウェア実践（LFC131-JP）」といった資格取得状況などに応じて複数のレベルランクを定義するとともに、スキルに応じて種類も拡張予定。
- ステップ
 - 2024年9月より第1期の育成プログラムをスタート。2025年3月までに200人の認定を予定。

（2）高スキルGX専門人材

- 目指す人材像・スキル定義
 - 脱炭素DX人材が持つ知見に加え、温室効果ガス排出量算定などのGX専門業務スキル、解決策の提案・実行やプロジェクトマネジメントなどのコンサルティングスキルを有する。
- ステップ
 - 脱炭素DX人材認定者の中から高スキルGX専門人材の対象者へ、特別プログラムを実施。

（3）目標

3カ年で脱炭素DX人材1,000人、高スキルGX専門人材100人の育成・輩出を計画。



株式会社メンバーズ 専務執行役員 西澤 直樹よりコメント



メンバーズではこれまで毎年数百人規模で採用した新卒社員を専門性の高いデジタル人材として育成し、DX人材不足の解消に貢献してきました。気候変動問題が深刻化し企業にも脱炭素化へ向けた取り組みが求められるなか、GX人材の不足解消が急務となっており、これまで培ってきたデジタル人材の育成ノウハウを活用し、デジタルスキルを兼ね備えた高スキルなGX人材を輩出することで、日本企業の脱炭素化の実現とビジネス成果の創出を両立する支援を加速させ、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1：三菱総合研究所『【提言】スキル可視化で開く日本の労働市場』（2023年9月13日）より
<https://www.mri.co.jp/knowledge/insight/policy/20230913.html>

